

歴史書 通信



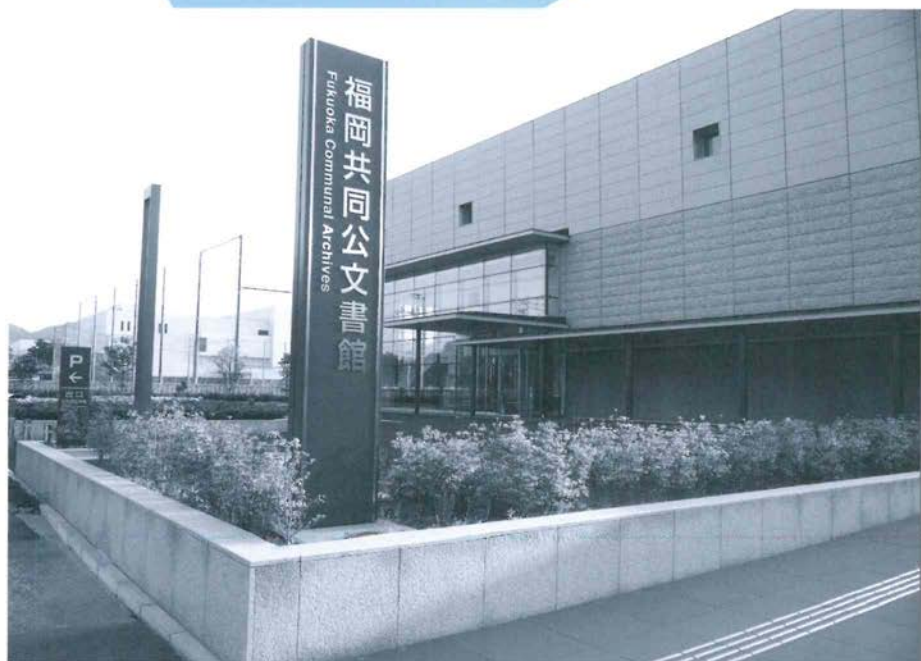
2017 No. 233

アーカイブズ——公文書館は何をめざそうとしているのか
[大濱徹也]

歴史書新刊ニュース(7・8月／13社56点掲載)

歴史書以外の人文社会図書新刊案内(7・8月)

歴史系学会・シンポジウム開催情報



歴史書懇話会

アーカイブズ

——公文書館は何をめざそうとしているのか

議事録には、苦すぎる真理がたくさんあります

大濱 徹也

(筑波大学名誉教授)

ロシア革命の指導者レーニンは、「議事録には、苦すぎる真理がたくさんあります」（『一步前進、二歩後退』）と問いかけ、議事録・記録を「不当に無視」した議論が会議を不毛な泥試合にしたと指摘し、議事録をふまえた建設的な対論こそが組織運営の要だと喝破しています。この指摘は、記録・公文書等には「苦すぎる真理がたくさんあります」がために、関係する公文書等の記録を恣意的に処分し、廃棄したとか、はたまた、個人的なメモの類として無視しつづけた先の国会審議における首相をはじめ関係閣僚、官僚等々の答弁に対してもいえることです。ここには、民主主義が記録にもとづく対論によって成立するものであること、検証する政治文化こそが開かれた社会を可能にするとの認識が欠落しています。

このような状況は、公文書館・文書館・記録館等々と称されているアーカイブズといわれる機関の存在が認知されず、認知されたとしても古いものが保存されている倉庫程度のものとみなされてきたことによります。問題は、

倉庫であるならば、なぜ公文書等の諸記録を収める器が必要とされてきたのかということです。そこで問われるのは、アーカイブズを古いものが眠っている幽霊屋敷としてではなく、公文書館等のアーカイブズにある記録類が現在を検証する器にして組織を活性化させる栄養素となりうるものであり、民主主義の血液ともいうべきものになっているか否かです。

思うにアーカイブズという存在は、すでに紀元前、旧約聖書のエズラ記にペルシアの王キュロスがイスラエルの民をバビロン捕囚から解放し、故国にもどり、ユダのエルサレムに破壊された神殿再建を認める命令を出したことをめぐる物語にみることができます。イスラエルの民は、この神殿建設が周囲の諸民族の反対で中止に追い込まれたがため、ダレイオス王に神殿建設がキュロス王に認められたものであることの確認を求めます。ダレイオス王は、バビロンの文書保管庫—アーカイブズにキュロス王が神殿再建を認めた勅令があることを確かめ、神殿再建への道をつけます（エズラ記1～6章）。

この記事には、国家の営みを検証し、政策の実行を保障する器としてアーカイブズの存在が欠かせないことが読みとれます。アーカイブズは、王の、為政者の権威と権力を誇示し、統治の正当性を証する器であるのみならず、民が与えられた権利を確認するものでもあったのです。かくてアーカイブズは、市民革命を経るなかで、政治の主体者である市民・国民が国家の営みを検証し、市民たる権利を主張するとともに、その義務を確認するための器へとなっています。その存在は、市民国家にとり、欠かせないものとみなされたのです。

日本では、このような意味でアーカイブズを認識することが弱く、国立公文書館の誕生に時間がかかりました。日本の公文書館がアーカイブズとして国家のなかに場を得るのは、2009年6月に制定された国の機関（独立行政法人を含む）における公文書管理の基本法である「公文書の管理に関する法律」をまたねばなりません。現在、アーカイブズに問われているのは、この転換期を自覚的に問い、検証する営みを政治文化として根付かせ、アーカイブズを民主主義の砦になしうるか否かではないでしょうか。

しかしアーカイブズなる存在は、昨今、秘密保護法制定をはじめ、南スーダンに派遣された陸上自衛隊の日報問題、森友学園、加計学園等々の公文書・記録管理の問題が世間の耳目を集めた

にもかかわらず、国立公文書館をはじめとして日本のアーカイブズが世上で話題となることすらありません。国家の公文書をはじめとする記録管理の問題は、各組織内の処理にまかされたままで、時に政府の声を代弁する「有識者」による委員会等にゆだねられているのが現状です。

かくほどに国立公文書館をはじめとする日本のアーカイブズの存在が稀薄なのは、公文書等の記録管理の在り方に向き合い、国家の統治を検証する器であるよりも、「歴史資料」の保管庫、古いものが眠っている場所であることに安住してことたれりとしてきたアーカイブズ像にとらわれ、アーカイブズを単なる歴史保管庫だとみなしてきた認識の歪みにあるのではないのでしょうか。仄聞するに公文書館の今年度の課題は「明治維新150年」等々の企画だと語られている由。この発題には、一過性の「歴史展示」に安住し、現在の統治を検証する器がアーカイブズであるとの思念を見出すことが出来ません。このようなアーカイブズ像は、文書館を「モンジョカン」と呼称することにこだわり、「歴史的価値」がある「古文書」の倉庫であることに存在の意味があると声高に説いてきた歴史研究者が生み育てたものです。たしかに昨今新たに誕生してきたアーカイブズには、札幌市公文書館が「特定重要公文書」なる概念を提示したように、「歴史的価値」なる言説にとらわれることなく、



なく、アーカイブズの原点が統治を検証する器であることを確認し、「記録」には苦すぎる真理があることに目を向け、記録による対論こそが広く開かれた社会を可能にするのだということ

行政運営上の価値、行政における証拠としての価値がある記録を遺すことで統治を検証する器をめざす営みがみられます。

思うに自治体アーカイブズは各機関の政治文化を体現したものといえましょう。その意味では、アーカイブズの在り方を読み解くことで、国家のみならず地方自治体等の立ち位置がわかります。その立ち位置を読み解くことは、札幌市公文書館のみならず、県と市町村が公文書等を共同管理する器として設立された福岡共同公文書館（福岡県立公文書館・福岡県市町村公文書館）をはじめ、各館に刻印された設立時の思惑を問い質すことで、アーカイブズの明日を想い描くことを可能にしましょう。その意味では、公文書館、文書館、記録館等々との呼称にこめられたアーカイブズ像に幻惑されること

を問い続けることが問われています。

いわば「苦すぎる真理」への目は、明治の新政府が統治組織を形成していく過程で、すでに説き聞かされておりました。このことは、「夫政務を執るは人にありと雖も其人の依拠遵奉して典例規則を誤らず能く天下人民の信を得て歴世経国の法軼然紊れざるもの唯記録の存するに由る。故に人事変換あり天災迭臻ありと雖之を守護し散逸ならさらしむる事政府の要務にして一日も忽にすべからざることなり」（記録課章程並編纂処務順序第1条 1873年）、と記録が統治をささえているのだとの認識に読みとることができます。「憲法政治」の実現をめざした伊藤博文は、若き日に「緊要の証書」が「各寮各司の書匣中に堆埋し」て失われている現況を問い、文明が開けて議会が開設され、「国民より名代人を出して議院に



臨ましめ、以て当時の会計を難議せば、其時に当り大蔵卿は何の書冊何の証書を披いて其支払を探知し国民の間に答へん歟。今日の政府をして国民に背くの冤罪を受けしむるに至るべし。これ記録正を置くことの急務たる所以」だと説いています。

昨今の議会における政府答弁はこの伊藤が論難した世界にほかなりません、安倍晋三総理はこの初代内閣総理大臣伊藤博文の言をいかに聞くのでしょうか。財務記録を平然と廃棄して恥じることなく、政策決定の記録を遺すことへの感覚の欠落こそは、いかに「民主主義」を言揚げしようとも、権力が恣意的に運用されている証にほかなりません。

国立公文書館をはじめとする日本のアーカイブズが現在まさに声をあげねばならないのは、無機物な過去の遺物が詰め込まれた倉庫業にアーカイブズを墮すのではなく、統治を検証し、権

力の非義を問い質せるアーカイブズへの道をめざし、現代の政治を検証する場がアーカイブズであることを世に問うていくことです。まさにアーカイブズの強固な基盤こそは、立法・行政・司法の三権の営みを問い質す第四権ともいうべき存在となし、権力の恣意的運用を糺し、「市民」が市民として己の場、権利と義務を確認することを可能にしましょう。歴史は現在の政治であり、現代の政治は明日の歴史を創ることに想いをいたし、危機の時代においてこそアーカイブズという存在が輝くようにしたいものです。

写真説明：福岡共同公文書館(表紙)と同館展示のパネル「文書のライフサイクル」。親子連れで来館する市民。

福岡共同公文書館では開館5周年シンポジウム「アーカイブスが築く未来—共同公文書館のチャレンジ」が11月18日(土)午後2時より同館2階研修室で開催される。

新刊ニュース

7・8月の新刊 *発売予定のものもあります

歴史一般

事典／年表・地図／歴史学・補助学

日本史史料研究会編

日本史のまめまめしい知識 2

(ぶい＆ぶい新書2)

新書版 258 頁 1,000 円

岩田書院 [5 月刊]

いま旬の研究者 29 名が、いま書きたいテーマで書いた、マニアック日本史。教養として役に立つか立たないか、そういうことは考えない。

978-4-86602-803-3

考古学

概論・通史／日本／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／その他

小林正史編

モノと技術の古代史 陶芸編

A 5 判 356 頁 6,000 円

吉川弘文館 [8 月刊]

貯蔵・調理・食事に使われた壺、鍋釜、鉢・坏などの土器。民族誌の比較に基づいて各器種の使い方を解明し、製作技術の工夫を描く。

978-4-642-01738-1

小笠原好彦著

古代豪族葛城氏と大古墳

四六判 208 頁 2,200 円

吉川弘文館 [8 月刊]

奈良盆地南西部に葛城氏の大型古墳が集中して造られたのはなぜか。畿内の最有力豪族の政治力、経済力、軍事力を考古学資料から描く。

978-4-642-08323-2

藤本 強著

埋もれた江戸

東大の地下の大名屋敷 (読みなおす日本史)

四六判 320 頁 2,500 円

吉川弘文館 [8 月刊]

何層にも重なる遺構と大量の出土遺物から、焼失・再建の変遷や食器などの時代的推移が判明。近世史を塗り替える成果を紹介する。

978-4-642-06729-4

日本史

概論・通史／史料／古代／中世／近世／近代／現代／地方史

五味文彦・島海靖編

新 もういちど読む山川 日本史

もういちど読む

A 5 判 384 頁 1,600 円

山川出版社 [7 月刊]

高校の日本史教科書を一般読者のために再編。日本史通史を 1 冊にまとめた大人の教養書。新コラム・カラーページ追加でリニューアル改訂。

978-4-634-59090-8

須田 努著

三遊亭円朝と民衆世界

A 5 判 288 頁 5,000 円

有志舎 [7 月刊]

名人・三遊亭円朝が創作した噺と彼の人生・思想を解析することにより、当時の民衆世界に分け入ってその心性を明らかにしていく。

978-4-908672-14-9

下山忍・會田康範編

もういちど読む山川 日本史史料

もういちど読む

A 5 判 216 頁 口絵 8 頁 1,500 円 山川出版社 [8 月刊予定]

『詳説日本史』にある史料 4 8 点をわかりやすい現代語訳で読み解き、教科書における記述の根拠を解説。一步深い教養を得られる新機軸の 1 冊。

978-4-634-59091-5

中野高行著

古代国家成立と国際的契機

(古代史選書 25)

A 5 判 310 頁 7,000 円

同成社 [7 月刊]

外交・戦争・内乱等の国際的契機が律令国家成立に与えた多大な衝撃を論証。朝鮮半島移民の先進技術導入にも着目した画期的諸論考を集成。

978-4-88621-768-4

古内絵里子著

古代都城の形態と支配構造

(古代史選書 26)

A 5 判 210 頁 5,000 円

同成社 [7 月刊]

古代都城の成立・変遷を形態変化と政治的背景の両面から追究。さらに東アジア都城との比較を通して、日本都城の特質を提示する。

978-4-88621-767-7

菊池達也著

律令国家の隼人支配 (仮)

(古代史選書 27)

A 5 判 288 頁 6,500 円

同成社 [8 月刊]

蝦夷や南東人の場合と対比しながら、隼人支配の朝貢・奉仕のあり方などから、その独自性を論証し、古代国家の九州南部支配の実態に迫る。

978-4-88621-770-7

飯村 均・室野秀文編

東北の名城を歩く 南東北編

宮城・福島・山形

A 5 判 298 頁 2,500 円

吉川弘文館 [8 月刊]

宮城・福島・山形の 3 県から精選した名城 6 を、最新の発掘成果に文献による裏付けを加えて、詳細・正確な解説と豊富な図版で紹介。

978-4-642-08320-1

京楽真帆子著

牛車で行こう！

平安貴族と乗り物文化

A 5 判 176 頁 1,900 円

吉川弘文館 [7 月刊]

古記録などから、乗り降りの作法、車種の違い、動力＝牛の性能など、失われた日常生活を豊富な図版とともに再現。その魅力に迫る。

978-4-642-08318-8

関 幸彦編

相模武士団

A 5 判 328 頁 2,500 円

吉川弘文館 [8 月刊]

中世、権力の中核だった相模国の武士団の興亡を、源平の争乱や南北朝の動乱に射程を据え描く。古戦場・街道などを訪ねて実像に迫る。

978-4-642-08322-5

「法隆寺雑記」を読む会編

南北朝期 法隆寺雑記

南部寺社史料集 2 (岩田書院史料選書 5)

A 5 判 176 頁 3,200 円

岩田書院 [7 月刊]

前書「法隆寺記録」に続き、天理図書館の「具中暦康安二年」とその紙背を、影印と翻刻。奈良～南北朝の法隆寺の堂宇別編年体の史書。

978-4-86602-979-5

織豊期研究会編

織豊期研究の現在 (いま)

A 5 判 318 頁 6,900 円

岩田書院 [5 月刊]

創立 20 周年記念シンポ (2015.11) の成果をまとめ、併せて研究史を整理。総論：藤田達生、基調講演：藤井譲治、論考：本多・山本・光成・藤田・平井。

978-4-86602-995-5

小林清治著作集編集委員会編

戦国大名伊達氏の領国支配

小林清治著作集 1

A 5 判 486 頁 8,800 円

岩田書院 [6 月刊]

小林清治氏 (1924-2007) の既刊著書に含まれない論考を全 3 冊に収録。本巻には、伊達氏とその一族、家臣団構造、城下町など 21 編収録。

978-4-86602-998-6

和田秀作編

戦国遺文 大内氏編 第 2 巻

A 5 判 360 頁 17,000 円

東京堂出版 [7 月刊]

中国地方最大の戦国大名、大内氏。待望の網羅的な史料集。第 2 巻には明応 6 年～大永 7 年までの 1042 通を収録。

978-4-490-30771-9

佐伯徳哉著

出雲の中世

地域と国家のはざま (歴史文化ライブラリー 451)

四六判 320 頁 2,000 円

吉川弘文館 [8 月刊]

出雲でいかに「地域」が形成・展開し、公家・武家・寺社勢力による権門体制国家が支配しようとしたのか。地域と国家の相剋に迫る。

978-4-642-05851-3

大友館研究会著

大友館と府内の研究

「大友家年中作法日記」を読む

A 5判 本文624頁 口絵16頁 10,000円 東京堂出版 [8月刊]

「大友家年中作法日記」を読み解くとともに、館の発掘・復元成果と併せまとめる。戦国大名大友氏研究の総決算。

978-4-490-20967-9

柴 裕之著

徳川家康

境界の領主から天下人へ（中世から近世へ）

四六判 290頁 1,700円 平凡社 [7月刊]

家康による天下一統の道筋は決して約束されてなどいなかった。境界の領主から天下人へと駆け上った一領主の足跡を、新出史料と新解釈で描く。シリーズ《中世から近世へ》第1弾。 978-4-582-47731-3

黒田基樹著

羽柴家崩壊

茶々と片桐且元の懊悩（中世から近世へ）

四六判 284頁 1,700円 平凡社 [7月刊]

茶々から片桐^{かつもと}且元に宛てた書状群から浮かぶ関ヶ原後の羽柴家の立場、新たな「天下人」家康との関係。大坂の陣に至る羽柴家内部の抗争について、滅亡までの15年の実態に迫る。 978-4-582-47733-7

池上裕子著

北条早雲

新しい時代の扉を押し開けた人（日本史リブレット42）

A 5変型 104頁 800円 山川出版社 [7月刊予定]

一代で伊豆と相模を平定し、優れた統治体制を確立した北条早雲。関東に巨大勢力を築いた北条氏発展の基礎を軍事、政策両面から明らかにする。 978-4-634-54842-8

那須義定著

中世の下野那須氏

（岩田選書◎地域の中世19）

A 5判 232頁 3,200円 岩田書院 [5月刊]

中世の下野那須氏の動向を中心に、那須与一の時代から、御家再興以後の近世大名那須氏までを通覧する。 978-4-86602-994-8

千野原靖方編

出典明記 中世房総史年表

A 5判 266頁 5,900円 岩田書院 [5月刊]

平安後期～織豊期を中心に、重要事項を掲げ、それぞれに出典を明記。巻末には各種一覧・参考文献を付す。 978-4-86602-993-1

大石泰史編

今川氏年表

氏親 氏輝 義元 氏真

A 5判 230頁 2,500円 高志書院 [7月刊]

駿河守護今川氏が駿河・遠江の領国支配を進めて大名として台頭し、武田氏によって府中を追われる永禄12年（1569）までをていねいに描き出す。 978-4-86215-171-4

原直史著

近世商人と市場

（日本史リブレット88）

A 5変型 104頁 800円 山川出版社 [7月刊予定]

市場が大きく発展し、現代の専門化・高度化された市場の基礎が作られた近世。魚肥を例に、商品流通の多様化と市場の特徴を解説する。 978-4-634-54700-1

太田素子著

江戸の親子

父親が子どもを育てた時代（読みなおす日本史）

四六判 250頁 2,200円 吉川弘文館 [7月刊]

下級武士の日記から、成育儀礼、年中行事、遊びや手習い、病の心配と死の悲しみなどを読み解き、親子関係と子育ての実態に迫る。 978-4-642-06728-7

金澤裕之著

幕府海軍の興亡

幕末期における日本の海軍建設

A 5判 296頁 6,500円 慶應義塾大学出版会 [5月刊]

幕末期に江戸幕府が創設した近代海軍、いわゆる幕府海軍の軍事組織としての活動実態を広範な史料を駆使して明らかにする。 978-4-7664-2421-8

玉井清編著

『写真週報』とその時代（上）

戦時日本の国民生活

A 5判 368頁 3,400円 慶應義塾大学出版会 [7月刊]

戦時中発行されていた国策グラフ雑誌『写真週報』の画像を紹介しつつ、食糧や勤労動員など国民生活に関わるテーマごとに、分析・考察する。 978-4-7664-2435-5

玉井清編著

『写真週報』とその時代（下）

戦時日本の国防・対外意識

A 5判 376頁 3,400円 慶應義塾大学出版会 [7月刊]

下巻では、国防関連記事や、アジア、英米、ドイツなどに対する意識に関わる記事を取り上げ、画像を多く紹介しながら分析・考察している。

978-4-7664-2436-2

土田宏成著

帝都防衛

戦争・災害・テロ（歴史文化ライブラリー 452）

四六判 240頁 1,700円 吉川弘文館 [8月刊]

近代東京の安全を脅かしたものは何だったのか。対外戦争、二・二六事件などの防衛課題を探り、当時の情勢や社会的影響に迫る。

978-4-642-05852-0

霞信彦著

軍法会議のない「軍隊」

自衛隊に軍法会議は不要か

四六判 192頁 1,800円 慶應義塾大学出版会 [8月刊]

我々は、軍法会議、軍の司法制度の正確な知識をもっているだろうか。偏ることのない客観的かつ正確な情報を提示し、軍と司法の関係を問う。

978-4-7664-2453-9

出口雄一著

戦後法制改革と占領管理体制

A 5判 520頁 6,800円 慶應義塾大学出版会 [5月刊]

戦前と戦後は連続しているのか、断絶しているのか？ 占領期前後の日本の法制度・法文化の跛行した歩みをまさに連続性をもって描く。

978-4-7664-2433-1

「消えゆく太平洋戦争の戦跡」編集委員会編 消えゆく太平洋戦争の戦跡

菊 5判 304頁 1,800円 山川出版社 [7月刊]

太平洋の島々、東南アジアに残る戦争遺跡の多くが今、消滅の危機にある。各地の戦跡の現状を、類書を圧倒する数のカラー写真で紹介。

978-4-634-15117-8

小川原正道著

西南戦争と自由民権

四六判 248頁 3,200円 慶應義塾大学出版会 [7月刊]

明治初期の反政府運動の実態を明らかにし、西南戦争の衝撃と自由民権運動が国家成立の中で持った意義を浮き彫りにする。

978-4-7664-2434-8

世界史

概論・通史／アジア／ヨーロッパ／アフリカ／アメリカ／オセアニア

「世界の歴史」編集委員会編

新 もういちど読む山川 世界史

もういちど読む

A 5判 336頁 1,600円 山川出版社 [7月刊]

高校の世界史教科書を一般読者のために再編。カラーページを追加し、最新の時事問題を理解するための基礎的背景も書き下ろしコラムで解説。

978-4-634-64090-0

荻安望著

世界の国旗・国章歴史大図鑑

A B判 368頁 12,000円 山川出版社 [8月刊]

世界 197 カ国の国旗・国章の歴史的変遷を辿りながら、その国の歴史を解説した、世界にも類のない国旗・国章の大図鑑。オールカラー。

978-4-634-16004-0

カーター・ヴォーン・フィンドリー著

テュルクの歴史

（世界歴史叢書）

四六判 500頁 5,500円 明石書店 [7月刊]

オスマン朝史専門家による世界史におけるテュルク諸民族の通史で、古代から近現代史までをコンパクトかつ俯瞰的に描く。

978-4-7503-4469-9

渡辺昭一編著

冷戦変容期の国際開発援助とアジア

1960年代を問う

A 5判 424頁 7,000円 ミネルヴァ書房 [7月刊]

戦後アジアの国際秩序はいかにつくられたか。開発援助戦略の分析を通じて、アジアにおける新国際秩序の形成過程に迫る。

978-4-623-07996-4

ウィリアム・マリガン著／赤木完爾・今野茂充訳

第一次世界大戦への道

破局は避けられなかったのか

四六判 424 頁 3,200 円 慶應義塾大学出版会 [8 月刊]

普仏戦争以降 40 年にわたる平和維持のメカニズムはいかにして機能しなくなったのか——大国が複雑に交錯する現代にこそ、学ぶべき「歴史の教訓」がちりばめられた一冊。 978-4-7664-2445-4

牛島 万著

米墨戦争前夜のアラモ砦事件とテキサス分離独立

（世界歴史叢書）

四六判 264 頁 3,800 円

明石書店 [7 月刊]

領土拡張主義の起源ともいえる 1836 年のアラモ砦事件、そしてテキサス共和国がメキシコから独立し米国に併合される過程を分析・論述する。

978-4-7503-4523-7

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教／
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

西沢正史編

平家物語作中人物事典

A 5 判 320 頁 4,500 円

東京堂出版 [7 月刊]

各人物ごとに登場箇所を示し、そのあらすじや背景を解説。登場人物の多さや合戦シーンの複雑さも、この一冊で解消。

978-4-490-10887-3

川口暁弘著

ふたつの憲法と日本人

戦前・戦後の憲法観（歴史文化ライブラリー 450）

四六判 336 頁 2,000 円

吉川弘文館 [7 月刊]

明治以降の日本に存在するふたつの憲法が、これまで一度も一文字も改正されなかったのはなぜか。日本人の憲法観に迫る、必読の書。

978-4-642-05850-6

日本佛教学会編

仏教における実践を問う（2）

社会的実践の歴史と展望

A 5 判 528 頁 7,000 円

法蔵館 [7 月刊]

これまで仏教が社会といかに関わってきたかを歴史におさえ、その意義の考察を通して仏教と社会の関係について今後の展望を模索。第一線で活躍する研究者たちの最新論考。 978-4-8318-7717-8

五野井隆史著

キリシタン信仰史の研究

A 5 判 360 頁 9,000 円

吉川弘文館 [7 月刊]

彼らは教えをどのように深め、いかなる生活をおくったのか。教理書や信心具、「組」と呼ばれる組織などから信仰生活の実態に迫る。

978-4-642-03479-1

松本郁代著

天皇の即位儀礼と神仏

四六判 304 頁 2,800 円

吉川弘文館 [7 月刊]

即位儀礼における皇位の正統性や権威はいかに創出されたか。儀式書や聖教を読み解き、神仏と天皇の関係から即位儀礼の本質に迫る。

978-4-642-08321-8

犬飼 隆著

儀式でうたう やまと歌

木簡に書き琴を奏する（はなわ新書 84）

新書判 196 頁 1,200 円

塙書房 [7 月刊]

五七の句を繰り返すやまと歌は、行政が整えた儀式的音楽として生まれた。日本語の歌と儀式との関わりを中心に「和歌以前」の姿を描き出す。

978-4-8273-4084-6

武田尚子著

荷車と立ちん坊

近代都市東京の物流と労働

四六判 224 頁 2,400 円

吉川弘文館 [8 月刊]

荷車の技術的変革は東京の経済発展に貢献した。車輛の製造、人力輸送の補助力だった「立ちん坊」の生活などから明治社会に迫る。

978-4-642-08324-9

植木行宣・樋口昭編

民俗文化の伝播と変容

A 5 判 616 頁 14,800 円

岩田書院 [6 月刊]

文化財保護行政に携わっている執筆者 20 人が、伝承の現場から、関西の民俗芸能を中心に報告する。

978-4-86602-996-2

野本寛一著

民俗誌・海山の間

野本寛一著作集 5

A 5 判 638 頁 19,800 円

岩田書院 [7 月刊]

978-4-86602-000-6

植松明石著

沖縄新城島民俗誌

「バナリ」その光と影

A 5 判 320 頁 6,900 円

岩田書院 [7 月刊]

978-4-86602-997-9

伊井春樹著

小林一三が宝塚少女歌劇にどのような夢を託したのか

四六判 298 頁 2,800 円

ミネルヴァ書房 [7 月刊]

978-4-623-07998-8

伝記

元木泰雄著

源 頼義

(人物叢書 289)

四六判 256 頁 2,100 円

吉川弘文館 [8 月刊]

978-4-642-05282-5

家近良樹著

西郷隆盛

人を相手にせず、天を相手にせず

四六判 610 頁 4,000 円

ミネルヴァ書房 [8 月刊]

978-4-623-08097-7

増田 弘著

石橋湛山

思想は人間活動の根本・動力なり

四六判 424 頁 3,500 円

ミネルヴァ書房 [7 月刊]

978-4-623-08092-2

海山の間の平地、海山を結ぶ川・海、その標高差なども視野に入れた地形環境と、そこに暮らす人々の記録。全 5 巻完結。

あらぐすく
新城島は八重山方言で「バナリ」という。本書は 1970 年代のフィールド調査をもとに、未発表原稿も含めて集成。解説：加藤正春。

阪急電鉄開業からタカラヅカ発足まで。関西の「文化の風景」を変えた、小林一三による阪急沿線開発の歩み。

前九年合戦で安倍氏を滅ぼした平安中期の武将。京で築いた政治基盤に着目し、『吾妻鏡』『陸奥話記』から伝わる人物像を見直す。

大政奉還・王政復古 150 周年記念出版。なぜ維新の立役者になれたのか… 本当の「西郷さん」、ここにあり。

気骨のリベラリスト・湛山の言論と政治とは。その 88 年の生涯を通じて、彼が描いた世界の理想像を、余すことなく伝える。

雑誌

日本歴史

日本歴史学会編集

8 月号 (第 831) = 7 月刊

9 月号 (第 832) = 8 月刊

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料 8,300 円 [税・送料込]

◆各種割引制度有

二年間前払い 16,000 円 [税・送料込]

三年間前払い 23,500 円 [税・送料込]

学生・院生 一年間 5,000 円 [税・送料込]

A 5 判 8 月号 = 130 頁、9 月号 = 130 頁

8 月号 = 741 円、9 月号 = 741 円

吉川弘文館 [7・8 月刊]

歴史書以外の 人文社会図書新刊案内

2017. 7・8

明石書店

福岡伸一、西田哲学を読む 生命をめぐる思索の旅 動的平衡と絶対矛盾的自己同一

池田善昭・福岡伸一著……………四六判 1,800 円 7 月

男性的なもの／女性的なものⅠ 差異の思考 フランソワーズ・エリチエ 著……………四六判 5,500 円 7 月

「大学改革」という病 学問の自由・財政基盤・競争主義から検証する 山口裕之著……………四六判 2,500 円 7 月

性風俗世界を生きる「おんなのこ」のエスノグラフィ SM、関係性、「自己」が紡ぐもの
熊田陽子著……………四六判 3,000 円 7 月

法 蔵 館

鈴木大拙の妙好人研究 菊藤明道著……………A 5 判 3,000 円 7 月

正信偈 聖典読解シリーズ 1 内藤知康著……………A 5 判 予価 4,000 円 8 月

歴史系学会・シンポジウム開催情報

2017年度 日本史研究会大会

会期＝2017年10月7日～8日 会場＝京都学園大学 京都太秦キャンパス*

◆問合せ(日本史研究会事務局)jimu@nihonshiken.jp ◆HP＝詳細あり

教育史学会 第61回大会

会期＝2017年10月7日～8日 会場＝岡山大学 教育学部(津島キャンパス)

◆問合せ(大会準備委員会)kyouikushi61@okayama-u.ac.jp ◆HP＝詳細あり

日本民俗学会 第69回年会

公開シンポジウム「民俗学とは何か―京都で考える民俗学のかたち―」

会期＝2017年10月14日～15日 会場＝佛教大学紫野キャンパス

◆問合せ(年会実行委員会)minzokugaku69@gmail.com ◆HP＝詳細あり

地方史研究協議会 第68回(徳島)大会

会期＝2017年10月21日～22日 会場＝徳島県郷土文化会館(あわぎんホール)*

◆問合せ＝(地方史研究協議会事務局)chihoshi@muh.biglobe.ne.jp ◆HP＝詳細あり

経営史学会 2017年度53回全国大会

会期＝2017年10月21日～22日 会場＝福井県立大学

◆問合せ(経営史学会事務局)jimukyoku@bhs.ssoj.info ◆HP＝詳細あり

日本考古学協会 2017年度宮崎大会

会期＝2017年10月21日～23日 会場＝宮崎公立大学*

◆問合せ(大会事務局) 電話 0983-41-0041 ◆HP＝詳細あり

東方学会 平成29年度秋季学術大会

会期＝2017年11月11日 会場＝日本教育会館

◆問合せ(東方学会事務局)jec@tohogakkai.com メール・FAXで10月31日までに申込み ◆HP＝詳細あり

史学会 第115回大会 公開シンポジウム「ロシア革命から20世紀史を考える」

会期＝2017年11月11日～12日 会場＝東京大学 本郷キャンパス*

◆問合せ(史学会事務局)shigaku@l.u-tokyo.ac.jp ◆HP＝詳細あり

第27回 神保町ブックフェスティバル

チョット汚れておりますが…「本」の得々市バーゲンセール

会期＝2017年11月3日～5日 会場＝神保町すずらん通り*

◆問合せ(神保町ブックフェスティバル実行委員会) 電話 03-3263-6601

* 印の会場では、歴史書懇話会による出張書籍販売がございます。

分野別図書目録のご案内

教育図書総目録

発行／教育図書総目録刊行会

図書館，教育学，教育心理学，教育政策・制度，学校経営，指導要領，教科別指導法，児童・生徒生活指導，性教育
本体571円＋税 円380円 毎年2月刊

特別支援教育図書総目録

発行／教育図書総目録刊行会

医療，発達，心理，治療法，教育原理，教育課程・方法，福祉，実践記録，各種障害，重複障害，精神保健，児童書・ビデオ
本体381円＋税 円250円 毎年2月刊

幼児教育・保育図書総目録

発行／教育図書総目録刊行会

幼児教育・保育論，保育史，法則・制度，幼稚園・保育園の経営管理，教育要領，各種指導法，言葉・表現，家庭教育
本体381円＋税 円205円 毎年2月刊

哲学・思想図書総目録

発行／人文図書目録刊行会

哲学・各論，言語学，倫理学・人生論，美学，思想史，日本・アジア・欧米・中近東・中南米・アフリカの思想，現代思想，宗教・宗教学
本体286円＋税 円250円 毎年5月刊

心理図書総目録

発行／人文図書目録刊行会

心理一般，基礎心理，発達心理，教育心理，臨床心理，精神分析，精神医学，社会心理，人間心理
本体286円＋税 円250円 毎年5月刊

社会図書総目録

発行／人文図書目録刊行会

社会学理論，家族・地域社会，福祉・教育，社会心理，マスコミ，社会問題，文化文明論，文化人類学，民俗学，神話
本体286円＋税 円250円 毎年5月刊

歴史図書総目録

発行／歴史図書目録刊行会

年表・地図，歴史学，考古学，日本史，世界史，文化史，伝記（回顧録・自叙伝），地理学，人文地理，歴史地理，紀行
本体381円＋税 円380円 毎年4月刊

文学・ことば図書総目録

（国語・国文学図書総目録より改題）

発行／国語・国文学図書総目録刊行会

国語（言語），国文学，古典文学，上代・中古・中世・近世・近代現代文学，国語教育，学習指導，コミュニケーション，漢文，世界の文学
本体271円＋税 円250円 毎年12月刊

「くらし・ジェンダー・女性」図書総目録

発行／女性問題図書総目録刊行会

くらし，生き方，家・家族，しごと，性・からだ，こころ，環境，福祉，教育，社会問題，女性論・女性解放，ジェンダー，文学，伝記，民族・風俗・宗教，歴史
本体286円＋税 円250円 毎年4月刊

部落解放・人権図書目録

発行／部落解放・人権図書目録刊行会

部落問題の現状・運動・教育・行政・歴史・文化・思想，人権一般，基本的人権，各種差別，被爆・原発，各種問題
本体286円＋税 円205円 毎年11月刊

仏教書総目録

発行／仏教書総目録刊行会

経典・聖典，仏教学，宗派別仏教学，仏教史，民俗，文学，美術，教養・信仰・法話，童話・絵本，カセット・ビデオ
本体286円＋税 円380円 毎年10月刊

キリスト教書総目録

発行／キリスト教書総目録刊行会

聖書・聖書学，神学，宗教哲学，伝記，信仰・入門書・説教集，文学，芸術，福祉，絵本，讃美歌，CD・カセット・ビデオ
本体286円＋税 円380円 毎年12月刊

法律図書総目録	法学・法哲学、法制史、憲法、行政法、民法、商法、刑法、労働法、国際法、政治学・思想、政治史、行政・自治、外交
発行／一般社団法人法経書出版協会	本体286円＋税 円380円 毎年3月刊
経済図書総目録	経済学・経済理論、経済史、計量経済学・統計学、経済学各論、日本経済、国際経済、財政学、金融、国際金融、マネープラン、社会保障・社会政策、人口、産業
発行／一般社団法人法経書出版協会	本体286円＋税 円205円 毎年3月刊
経営図書総目録	経営学、経営政策、組織、労務管理、生産管理、コンピュータ、経営工学、会計学、税務、商業一般、マーケティング、宣伝・広告
発行／一般社団法人法経書出版協会	本体286円＋税 円380円 毎年3月刊
日本農業書総目録	農学、土壌・肥料、農業工学、病虫害、作物、園芸、農芸化学・農産加工、畜産、獣医学・比較医学、林業、水産
発行／農業書協会	本体286円＋税 円380円 毎年1月刊
日本理学書総目録	科学一般、数学、コンピュータ、物理学、化学、天文学、宇宙科学、地球科学・地学・地質学、生物科学、動・植物学
発行／日本理学書総目録刊行会	無料 円390円 毎年11月刊
生活・健康・栄養図書総目録	栄養、臨床栄養、保健・衛生、健康と食生活、食品、生活・家政学、家族の生活、保育・幼児教育、生活福祉、生活環境、衣生活、家庭教育
発行／家政学図書目録刊行会	本体286円＋税 円380円 毎年11月刊
スポーツ・健康科学書総目録	健康科学、保健学、体育学、各種スポーツ・オリンピック、野外活動、登山・山岳、冬季スポーツ、ダンス、レクリエーション
発行／スポーツ・保健体育書目録刊行会	本体286円＋税 円250円 毎年8月刊
演劇・映画図書総目録	演劇・映画史、演出・演技論、監督、俳優、脚本、評論、歌舞伎、能・狂言、オペラ・ミュージカル、舞踏、映画技術、アニメーション、声優
発行／演劇図書総目録刊行会	本体286円＋税 円205円 毎年4月刊
YA図書総目録	分野別の目録ではなくクラス別の目録。中学生・高校生を読者対象に作られた本を収録する。ただし文庫と学習参考書は収録対象外。
発行／ヤングアダルト図書総目録刊行会	本体286円＋税 円250円 毎年2月刊

■いずれの目録も各分野について出版社が常時在庫している主要な既刊図書に新刊を加えて、網羅編集したものです。書名索引、著者索引、シリーズ索引などを設けて読者の検索の便を図っております。サイズはすべてA5判です。刊行は年1回、発行予定月を頒価及び送料の右側に表示してあります。

■最寄りの書店でお買い求めいただけます。目録刊行会から直接ご購入を希望される場合は恐れ入りますが、目録代金に送料を加えた金額を切手または現金書留にて、それぞれの目録刊行会宛てにお申し込みください。刊行会の所在地はいずれも下記の住所となります。

〒162-8710 東京都新宿区東五軒町6-24 トーハンビル内 TEL 03-3266-9521

◆私たち歴史書懇話会は、月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを次の6書店で開催中です（かっこの数字はフェア開始の日付）。◇天童市TENDO八文字屋（2006年7月～）／◇新潟市紀伊國屋書店新潟店（2007年8月～）／◇松江市今井書店グループセンター店（2008年6月～）／◇大阪市喜久屋書店阿倍野店（2013年11月～）／◇出雲市今井書店出雲店（2014年7月～）／◇名古屋市ジュンク堂書店ロフト名古屋店（2015年6月～）。…お近くにお越しの折には、是非お訪ねください。

■ 2017年8月／様々な「歴史」の記録

◆8月6日夜NHKスペシャル「原爆死—ヒロシマ72年目の真実」を観ました。原爆投下のその日から現在まで、広島市が蓄積してきた55万人に及ぶ被爆者たちの記録「原爆被爆者動態調査」を、NHKは最新のビッグデータ解析技術を駆使して、時系列に並べ地図に落とし込みました。この最悪兵器によってどのようにして人々は殺されたのかが、TVの画面にはっきりとしたグラフで映し出されました。8月6日投下当日広島での死者は53644人でした。其の中には生きながら焼かれて命を奪われた「圧焼死」、やけどで亡くなった「火傷死」。さらにデータの分析は続けました。今まで見過ごされてきた原因がこれから明らかにされていくそうです。◆ちょうど1年前の8月6日、開会式が広島原爆投下の時刻と重なる初めての五輪という事で、「未来のために平和はとても大切なものです。今日は71年前に広島に原爆が落とされた日。戦争の悲劇を忘れてはいけません」とアナウンスされる予定が、IOCにより「政治的利用」と判断されて中止となったそうです（『朝日新聞』8月6日）。◆8月12日夜には、長崎で被爆しながら30年も被爆の被害を沈黙してきた長崎浦上地区の人々の現実を記録したE TV特集「原爆と沈黙—長崎浦上の受難」がありました。被爆への差別（「うつるからそばに寄るな」と言われた…）に加えて被差別部落への差別が重なっていた浦上町の人々。◆広島テレビ放送は原爆関連ドキュメンタリー番組の英語版をインターネットで世界に向けて発信開始。この8月5日の『ニューヨーク・タイムズ』に「人は核で死んではない」という意味の英文広告を掲載（『日本経済新聞』8月14日）。◆いつもは地味な町内会のお知らせが、この夏は特集号「語りつごう戦争の記憶」で、弊社のそばに住む方々3人の空襲体験が多くの写真と共に記録されていました（『西神田便り』2017年8月）。◆国連の軍縮委員会で「核兵器禁止条約」の交渉開始決議に賛成できない日本政府。◆ミニコミ『不戦』180号（2017年夏季号／「不戦兵士・市民の会」発行）に元自衛隊・レンジャー隊員による「自衛隊の戦争準備はどこまで出来ているのか！—南スーダンPKOの現実とは“殺し殺される危険”」が掲載されています。その中の1節「9条を活かした日本らしい国際貢献を」には世界中で日本だけが出来る平和への現実的な活動が描かれています。

◆過去を記録し歴史書を作り続ける事こそが、私たちに出来ることだと考えます。 (FN)

9月の新刊

アーカイブズ への眼

アーカイブズへの眼

—記録の管理と保存の哲学—

大濱徹 著

清水書店

記録の管理と保存の哲学

この一冊
今こそ

書評から

大濱徹也著

あるべき日本のアーカイブズ像への課題／情報公開の原点！

公文書館制度の拡充・強化は、国家の課題と認識されているにも拘らず、日本における記録管理への目はあまりにも弱いのが現状。著者はこの認識のもとに、まず、記録管理の実態を問いただし、あるべき姿を議論する

(二〇〇七年刊)

A5上製 二〇〇頁 一、二〇〇

21世紀の
歴史学宣言

現人神から大衆天皇制へ

ジョー・グルディ&D・アーミティージ／平田雅博・細川道久訳

気候変動、不平等、資本主義の行く末といった大きな社会の課題を長期的にとらえることが、歴史家本来の仕事である！ミクロな歴史の台頭する今、この長期の視点に立つ歴史の重要性の再認識を主張。歴史学研究の流れから、膨大な史料データに対応した最新のデジタル歴史学の成果まで、手にとるように分かる！

万水歴史全書32 四六上製 二四〇頁 一、五〇〇

ローマ教皇庁の歴史

古代からルネサンスまで

B・シンメルベツヒ著／甚野尚志・成川岳大・小林亜沙美訳
古代ローマのキリスト教信徒共同体から教皇庁の基礎が確立した15世紀までの通史。政治・教義・法・制度・典札史を説き、教皇庁の経済的社会的側面から教皇及び補佐役たちの思考・心性までも考察した、現在最も重要な教皇庁研究。西洋史研究必携の書！

「人間科学叢書47」 A5上製 四四〇頁 一、六〇〇

大好評！

マルセイユの都市空間

幻想と実存のあいだで

深沢克己著「世界の歴史 都市」 四六並製 二〇〇頁 一、二〇〇
かつて「東方の門戸」と呼ばれたこの国際都市は、「移民の町」「不衛生で物騒な町」と偏見・蔑視でよそ者扱い！何故なのか？町を見守り続けた著者だからこそ温かい眼差しで、二六〇〇年の歴史が語られる！

A5上製 三六〇頁 一、四六〇

昭和の国体とキリスト教

吉野明子・伊藤彌彦・石井摩耶子共編

横田耕・島岡進・吉野明子・石井摩耶子・星野靖一・齋藤公太・豊川慎・遠藤興・渡辺祐子・伊藤彌彦・柳父剛近・千葉眞
：本書が、今なお私たちに果食している「内なる天皇制」とどのように取り組み、何を為すべきかを考える一助となることを願ってやまない。(編者はしるし)
宗教学・憲法学・政治学・歴史学・教育学・キリスト教史学：多分野の研究者が、昭和期の戦前・戦中・戦後の天皇制の諸側面を論じた共同研究5年間の成果。象徴天皇制が大きな転機を迎えた「今」を読み解く機会に

【価格(税別)】
〒101-0065 東京都千代田区西神田
2-4-1 東方学会本館

刀水書房

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234
http://www.tousuishobou.com/

シリーズ
最新刊

「学び直し」のベストセラー

8年ぶりに

改訂!

カラーページ&コラム増強で一新

高等学校の教科書を、一般読者のために読みやすく書き改めたシリーズ。ニュースの背景がよくわかる、社会人のための教科書。

A5判 各本体1600円

新 もういちど読む

山川日本史

五味文彦・島海靖編

新 もういちど読む

山川世界史

「世界の歴史」編集委員会編



もういちど読む

山川日本史史料

下山忍・會田康範編



教科書掲載の史料から、歴史の記述を学ぶ日本史。

『詳説日本史』にある史料48点を選び、わかりやすい現代語訳で史料を読み進め、教科書の記述の根拠を知る。

A5判 216頁十口絵8頁 本体1500円

歴史的思考力を育てる

歴史学習のアクティブ・ラーニング

永松靖典編「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)を実現するための、授業の実践事例を紹介し、これからの歴史学習のあり方を考える。

A5判 224頁 本体2000円



消えゆく太平洋戦争の戦跡

「消えゆく太平洋戦争の戦跡」編集委員会編
太平洋の島、東南アジアに残る戦争遺跡の多くが今、消滅の危機にある。70年の歳月を経たお過去の対話を促す各地の戦跡の現状を、類書を圧倒する地域と数のカラー写真で紹介。

菊5判 304頁 本体1800円

和菓子を愛した人たち

虎屋文庫編著 永い間、人々の歴史や人生の瞬間に、寄り添うようにして食されてきた和菓子。武士や貴族そして文化人まで、歴史に登場する人々と和菓子の隠れたエピソードを綴る。

四六判 304頁 本体1800円

土偶界へようこそ

縄文の美の宇宙

響田亜紀子著

色、造形、模様……、日本最古の美にあらゆる角度から迫る。掌に収まる小さな人形(ひとがた)から国宝まで各地の土偶70体を取録。土偶が湛える、縄文の人々の心性と時代の神秘は多くの人を魅了してやまない。

四六判 208頁 本体1600円



山川出版社

東京都千代田区内神田 1-13-13

電話 03-3293-8131 <https://www.yamakawa.co.jp/>

[価格は税別]

古城ファン必備！ 好評の関東・関西・中信越編に続く東北編。「内容案内」送呈

東北の名城を歩く 全2冊

南東北編 宮城・福島・山形

飯村 均・室野秀文編

2500円

往時を偲ばせる石垣や土塁、郭の痕跡などが訪れる者を魅了する中世城館跡。宮城・福島・山形の三県から精選した名城六六を紹介する。最新の発掘成果に文献による裏付けを加えた、好評「名城を歩く」シリーズ待望の東北編。
【続刊】北東北編 青森・岩手・秋田



山形城本丸一文字門（本書より）

古代豪族葛城氏と大古墳

小笠原好彦著

2200円

奈良盆地南西部に葛城氏の大古墳が集中して造られたのはなぜか。考古学の研究成果と「古事記」「日本書紀」の首長系譜を対比し、葛城氏の被葬者をすべて想定。畿内の最有力豪族の政治力、経済力、軍事力を解明する。

源頼義

（人物叢書289）

元木泰雄著

2100円

平安中期、頼朝へと続く河内源氏の二代目当主。陸奥守として赴任、前九年合戦で安倍氏を滅ぼした。父頼信・弟頼清の活動や京で築いた政治基盤に着目し、「吾妻鏡」「陸奥話記」から創出された頼義像を見直し実像に迫る。

相模武士団

関 幸彦編

2500円

武士の都「鎌倉」を有し、中世における権力の中核だった相模国。その地域に根ざした武士団の興亡を、源平の争乱や南北朝の動乱に射影に据え描く。古戦場・街道など、武士団の活躍した舞台を訪ねて、その実像を迫る。

荷車と立ちん坊

近代都市東京の物流と労働

武田尚子著

2400円

明治のはじめ、荷車の技術的変革は東京の経済発展に大きく貢献した。人力輸送の補助力として不可欠な「立ちん坊」とはどんな人たちだったか。運輸や労働の視点から明治社会を掘り起こし、物流問題の実態に迫る。

歴史文化ライブラリー

451 出雲の中世

地域と国家のはざま

佐伯徳哉著

2000円

出雲にも「中世」という時代はあった。日本海西部の出雲でいかに「地域」が形成・展開し、これを公家・武家・寺社勢力による権門体制国家がいかに支配しようとしたのか。地域と国家の相関に迫る。

452 帝都防衛

戦争・災害・テロ

土田宏成著

1700円

近代東京の安全を脅かしたものは何だったか。明治から昭和の敗戦までを分析し、対外戦争、関東大震災など時代に要請された防衛課題を探る。帝都がどう守られてきたかを検討し、社会的影響に迫る。

埋もれた江戸

東大の地下の大名屋敷（読みなおす日本史）

藤本 強著

2500円

東京大学の改築工事の際に、加賀大聖寺藩の上屋敷跡が検出された。何層にも重なる遺構と大量の出土遺物から、焼失・再建の変遷や食器等の時代の推移が判明。近世史を塗り替える成果を、調査の臨場感と併せて紹介。

モノと技術の古代史 全4巻 刊行中

陶芸編

小林正史編

【既刊】金属編 村上恭通編

6000円

【続刊】木器編／漆工編

貯蔵・調理・食事に使われた壺・甕・鍋・釜・鉢・坏などの土器・民族誌の比較に基づいて各器種の使い方を解明し、時期や地域ごとに形・作りが異なる理由や製作技術の工夫を描く。6000円



吉川弘文館

〒113-0033 東京都文京区本郷7丁目2番8号 / 表示価格は税別です
電話03-3813-9151（代表）/ FAX 03-3812-3544 最新版『新案内』送呈

歴史書懇話会

▶会員社名簿◀

- 明石書店 101-0021 千代田区外神田 6-9-5 〈担当者：深谷直樹〉
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1174
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田 1-1-3 〈担当者：石田 亘〉
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 思文閣出版 605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入元町 355 〈休会〉
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町 1-17 〈担当者：鈴木 淳〉
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田 2-4-1 〈担当者：中村文江〉
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋 4-4-8 〈担当者：榎 祐典〉
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷 6-8-16 〈担当者：関口守俊〉
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 〈担当者：西村明高〉
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 [本社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町 1
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589
[東京支社] 101-0052 千代田区神田小川町 2-4-17 大宮第1ビル 6F
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620 〈担当者：須藤 圭〉
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田 1-13-13 〈担当者：菊池敏彦〉
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷 7-2-8 〈担当者：春山晃宏〉
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2017年9月1日発行・第233号

発行 **歴史書懇話会**

113-0033 文京区本郷 7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店